

研究実施のお知らせ

2023年9月24日 ver.1.2

研究課題名

日本外傷データバンク（JTDB）を用いた、胸部大動脈損傷患者における基礎疫学的調査

研究の対象となる方

本研究の対象となるのは、2004年から2022年の間に全国の救急医療施設を受診され、胸部大動脈損傷と診断された患者様です。

研究の目的・意義

日本救急医学会と日本外傷学会が日本外傷データバンクとして全国規模で広く集積した、各施設における外傷診療のデータを利用します。胸部大動脈損傷の患者様にどのような治療が行われ、どのような因子が死亡と関連するかなどを検討することによって、本邦全体の外傷診療体制の向上に寄与することを目的としています。

研究の方法

各施設が個人を特定できる情報を除外した形で、診療に関するデータをインターネット上で登録します。登録された患者基本情報（年齢、性別、受傷日時など）、受傷機転、病院前情報（現場バイタルサイン、処置など）、転院搬送情報、来院時情報（バイタルサイン）、既往歴、検査所見、救命処置、輸血、手術、診断名、合併症、入退院情報（入院先、入院日数、退院先、死亡など）、などの情報を日本外傷診療研究機構（JTCR）が取りまとめ、島根大学は郵送で JTCR より記録媒体に記録されたデータの提供を受けます。これらの情報から、来院時に緊急手術が必要と判断された患者において来院から手術開始までの時間と院内死亡の関係について検討します。

個人が特定できる情報（氏名、住所、生年月日など）は除外した形でのデータを利用します。データの紛失、改ざん、漏えいなどを防ぐために、データベースへのアクセスは ID とパスワードにより適切に管理しています。研究成果は個人が特定できないような形で発表します。

研究の期間

2023年10月20日～2028年3月

研究組織

この研究は島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：松本 亮
島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座 医科医員

既存情報の情報提供機関

特定非営利活動法人日本外傷診療研究機構

〒164-0001

東京都中野区中野二丁目2番3号

株式会社へるす出版事業部内

提供担当者：阪本 雄一郎

理事長：溝端 康光

情報の利用停止

この研究で集める情報は、研究を始める前から既に誰のものか識別できないようになっています。そのため、ご自身の情報をこの研究に利用してほしくないといった申し出に対してはご要望に沿うことはできませんのでご了承ください。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：松本 亮

島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座／附属病院 高度外傷センター

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2757 FAX 0853-20-2753